

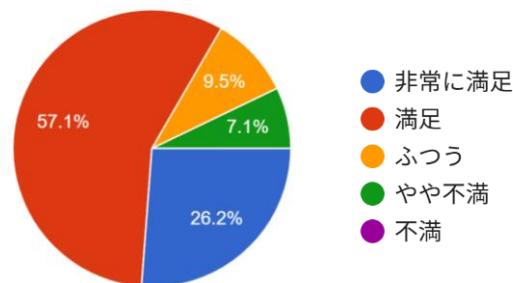
令和7年度 疾患別医療介護連系事業  
11月18日「心疾患」多職種連携研修 アンケート

参加者数71名（講師・関係者15人含む）回答者43件 回答率76.7%

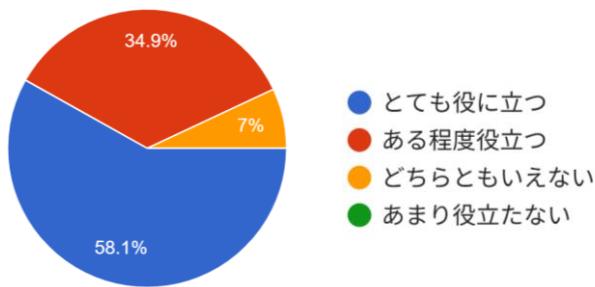
参加者数(関係者15人含む)

保健師・看護師	22
医師	7
主マネ・ケアマネ	12
リハビリ職(PT/OT/ST)	10
介護福祉士・介護士	3
MSW・社会福祉士	1
薬剤師	6
管理栄養士	1
その他	4
不明	5
合計	71

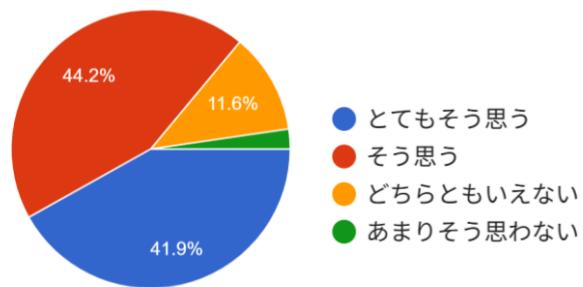
1.研修全体の満足度を教えてください



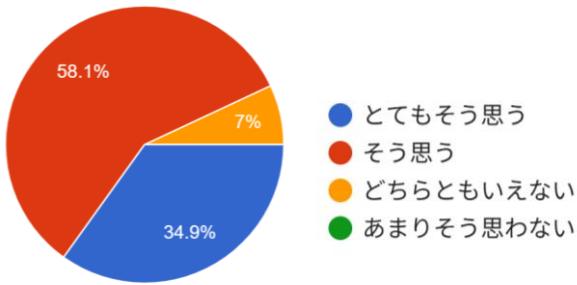
2.研修の内容は、日頃の業務に役立つと感じましたか？



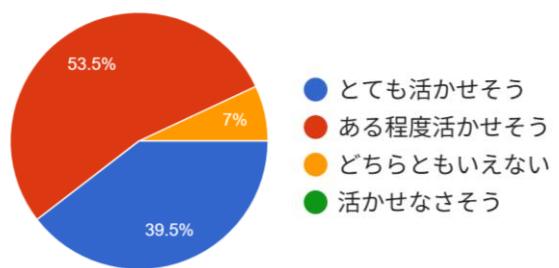
3.症例をもとにした多職種の視点・意見交換は理解しやすかったですか？



4.「この場面でどう対応すればよかったです」というテーマについて、現場の課題に即していたと感じましたか？



5.各職種のコメントは、実践に活かせそうでしたか？



## 感想・ご意見

- 心不全の悪化を防ぐには、医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、ケアマネ...多職種の連携が欠かせないと感じました。また、一方的な指導ではなく、当事者の背景や環境を考慮し、一緒に考える事が大切だと思いました。有意義な研修をありがとうございました
- 研修会ありがとうございました。患者の問題点に対し多職種のアプローチの仕方がわかり、参考になりました。今後に活かしていきたいと思います。
- 支援する立場として、心臓リハビリに興味があった。詳細の説明が欲しかった。浮腫の確認を怠らないようにしたい。利尿剤の作用に配慮したい。心臓とか腎臓の機能不全により症状が似ているので血液検査の値にも配慮する必要性や、塩分制限、タンパク質の摂取が重要と肝に銘じたい。参加させていただきありがとうございました。
- 内容のレベルが高く、出席は早またと思いました。薬情にはすべてが書かれていない為、自己判断せず薬剤師や医師に相談することをすすめていきたい。
- 専門職から具体的な指導方法や意見を聞かせて頂き、相談しやすくなりました。ただ、19時20分頃から画面が落ちてしまい戻れませんでした。最後まで視聴出来ず、非常に残念でした。資料を読んで、今後の参考にさせて頂きます。
- 減塩食を自宅で継続することの難しさと、それを支える在宅チームの関わり方
- 最新のガイドラインでは塩分制限よりエネルギー摂取が重視されていること、訪問看護、訪問リハビリはできるだけ早く利用することなど、特に実務に活かせると感じました。多職種が適宜コメントする構成もわかりやすく、芦田先生の勉強会があればまた参加したいです。
- 事例をもとにどこで看護師として受診につなげるべきかなど重要なポイントが見えてきたので今後に活かしたい
- 内服薬・食事管理を本人の生活に沿ってチームでしていくこと。タンパク質とリハビリが大切。
- 患者教育が大事だと感じました
- 多職種が関われば悪化の予防、早期発見、早期治療などを行えることを再確認した。訪問看護として自覚を持って介入していきたい
- 運動、タンパク質摂取、減塩が大事。BNP値等血液検査結果の見方。
- 難渋ケースの症例報告が聞けて良かった
- 多職種の視点で意見が聞けたのはよかったです。データの見方の説明が分かりやすかった。
- 腓骨前部の浮腫と夕方に現れる浮腫との違いがあることが分かりました。他は聞き取りにくいうところもあり、難しく感じました。資料にて再度学ばせて頂きます。ありがとうございました。
- 初めて聞く医療用語・知識に難しさもありましたが、興味深い話が多かったです。
- 服薬管理や食事指導、それらの医療連携に訪問看護はとても有益ですし、予防から関わるのでできるだけ速やかに介入したい。訪問看護は医療保険でも入れる。今回の症例はいずれも遅すぎる印象でした。
- 心疾患治療薬は途中でやめない方がいいこと、BNP指標、心不全手帳は学びになりました。普段の業務ではそれぞれの立場で役割を果たしているとは思いますが、さらに連携しようとする意識を持ち情報共有することで患者様・利用者様を支える体制はより強固になると思いました。機会があればまた参加したいです。ありがとうございました。
- 座長の芦田先生のインパクトある進め方がとても心地よく、その場の専門職の意見と自分の考えとすり合わせもでき意義あるものとなりました。
- リハビリが重要ということを再確認できました。
- 心不全には包括的アプローチが必要なことがわかった。浮腫には特に注意していきたい。
- 心不全においてはBNPの活用(今まで着目していなかった)。利用者の一言や家庭の情報を病院へ流すことは大事である。
- 聞き取りにくいうところがあり残念でした
- 「医療・介護連携」とあるが、介護職はあまり関係ない感じを受けた。特に前半は専門的だったり薬の話が多く分かり辛かった。後半は比較的分かりやすかった。